

# 「第23回 愛媛県勤労者定期観測調査」報告書

## （2022年11月調査）

2023年3月31日

### 【はじめに】

一般社団法人愛媛県労働者福祉協議会では、愛媛県内勤労者の福祉を推進するための基礎資料を得ることを目的に、県内勤労者を対象にした景況調査を実施しています。当報告書では、2022年11月に実施した「第23回愛媛県勤労者定期観測調査」の結果を報告します。調査にご協力いただきました加盟団体・事業所様、並びにご回答いただきました皆様にお礼申し上げます。

### 【調査概要】

- ① 調査名称：愛媛県勤労者定期観測調査（愛媛県勤労者短観）
- ② 調査対象：一般社団法人愛媛県労働者福祉協議会に登録する97団体・事業所の勤労者
- ③ 調査項目：勤労者の景況感、仕事の現状、暮らし向き等
- ④ 調査実施期間：年2回5月・11月、第23回調査2022年11月1日～11月30日
- ⑤ 回答数：第23回調査登録者数：428名、回答者数：337名、有効回答数：333
- ⑥ 調査方法：質問票によるアンケート調査(郵送調査法)

### 【総括】

第23回（2022年11月）調査結果は次のようになった。愛媛県内勤労者が見た県内景況は、改善傾向に強くブレーキがかかった。勤労者の判断理由として、「利益が減った」「原材料費が上がった」の回答が増えた。一方、「労働時間DI」は上昇を続けており、また、「賃金収入DI」は下落したものの、賃金収入は「増えた」の回答が「減った」の回答よりも依然として多い。「身の回りの物価」については、「上がったと思う」の回答割合が85%に達し、調査開始以来最多になった。物価上昇が県内勤労者の景況感に大きく影響したと判断される。

### 【主な調査結果】

- (1) 景況 愛媛県内の勤労者が見た県内の景況は、大幅に悪化した。全業種で見た「経営状況DI」は19.1ポイント下落した。業種別で製造業のDIは47.9ポイント下落し、規模別で従業員数1000人以上のDIは36.4ポイント下落し、いずれも調査開始以来最大の下落幅になった。p.3
- (2) 身の回りの物価 「上がったと思う」の割合が85.0%に達し、調査開始以来最多になった。p.6
- (3) 実労働時間 全業種で見た「労働時間DI」は僅かに上昇し、4期連続での上昇になった。p.7
- (4) 賃金収入 全業種で見た「賃金収入DI」は3期連続で上昇していたが、今期は下落した。p.8
- (5) 特別調査 1年前と比べた世帯の消費生活の状況について p.14-15

第23回 愛媛県勤労者短観調査 回答者属性

アンケート有効回答数	333
------------	-----

性別	人	%
男性	246	73.9
女性	87	26.1

年齢構成	人	%
20歳代	26	7.8
30歳代	89	26.7
40歳代	119	35.7
50歳代	80	24.0
60歳以上	19	5.7

家族構成	人	%
1..あなた(①)	53	15.9
2..あなた/親(①④)	35	10.5
3..あなた/親/その他(兄弟)(①④⑤)	6	1.8
4..あなた/子ども(①③)	12	3.6
5..あなた/子ども/親(①③④)	1	0.3
6..夫婦(①②)	42	12.6
7..夫婦/子ども(①②③)	161	48.3
8..夫婦/親(①②④)	3	0.9
9..夫婦/子ども/親(①②③④)	13	3.9
10..その他(それ以外の組み合わせ)	7	2.1

居住地	人	%
東予	137	41.1
中予	149	44.7
南予	45	13.5
その他	2	0.6

勤務地	人	%
東予	143	42.9
中予	144	43.2
南予	46	13.8

勤続年数	人	%
5年未満	26	7.8
5年以上15年未満	113	33.9
15年以上25年未満	103	30.9
25年以上	91	27.3

勤続年数	
平均(年)	17.8
中央値	16
最頻値	10

従業員数	人	%
9人以下	16	4.8
10~49人	16	4.8
50~99人	12	3.6
100~499人	43	12.9
500~999人	96	28.8
1000人以上	150	45.0

業種	人	%
民間製造業	114	34.2
民間非製造業	160	48.0
公務員	32	9.6
その他(医療、福祉団体等)	27	8.1

就業形態	人	%
正規	315	94.6
非正規	18	5.4

労働時間	人	%
20時間未満	4	1.2
20~30時間未満	12	3.6
30~40時間未満	70	21.0
40時間	58	17.4
41~50時間未満	127	38.1
50~60時間未満	49	14.7
60時間以上	13	3.9

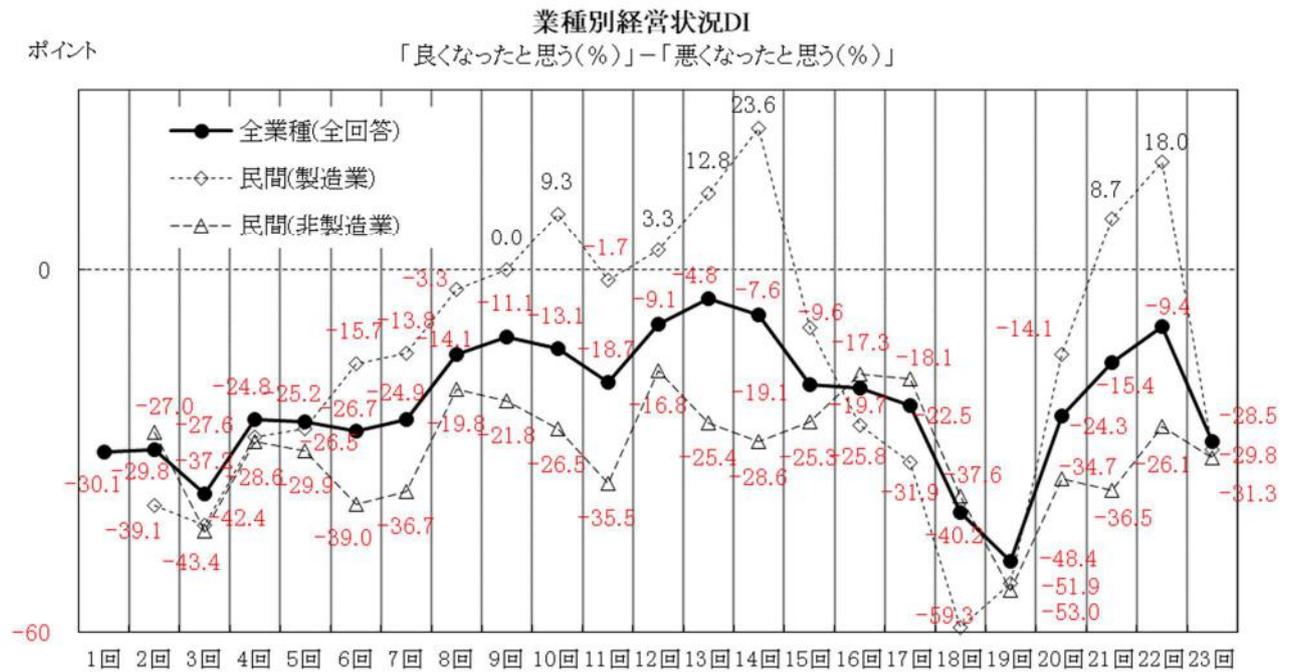
年収	人	%
200万円未満	9	2.7
200万円~400万円未満	81	24.3
400~600万円未満	134	40.2
600~800万円未満	87	26.1
800万円以上	22	6.6

世帯の就労状況	人	%
あなただけが働いている	123	36.9
あなた以外に、フルタイム就労者あり	121	36.3
あなた以外に、パートタイム就労者あり	74	22.2
あなた以外に、フルタイム・パートタイム就労者あり	15	4.5

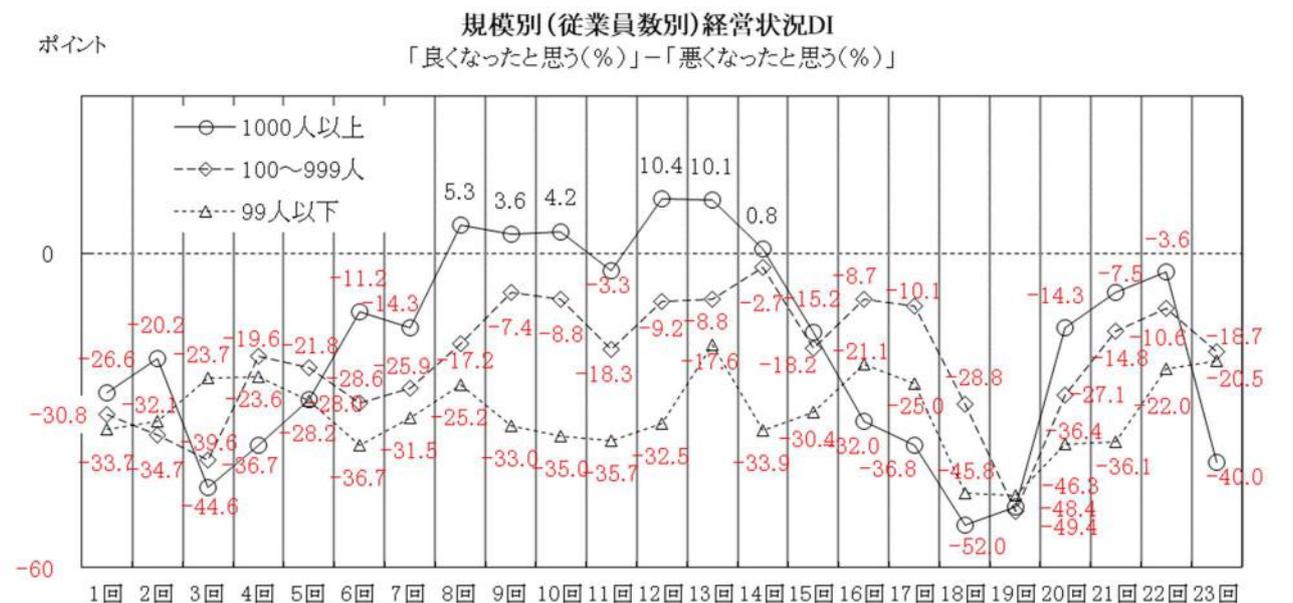
[調査結果]

1. 勤め先の経営状況

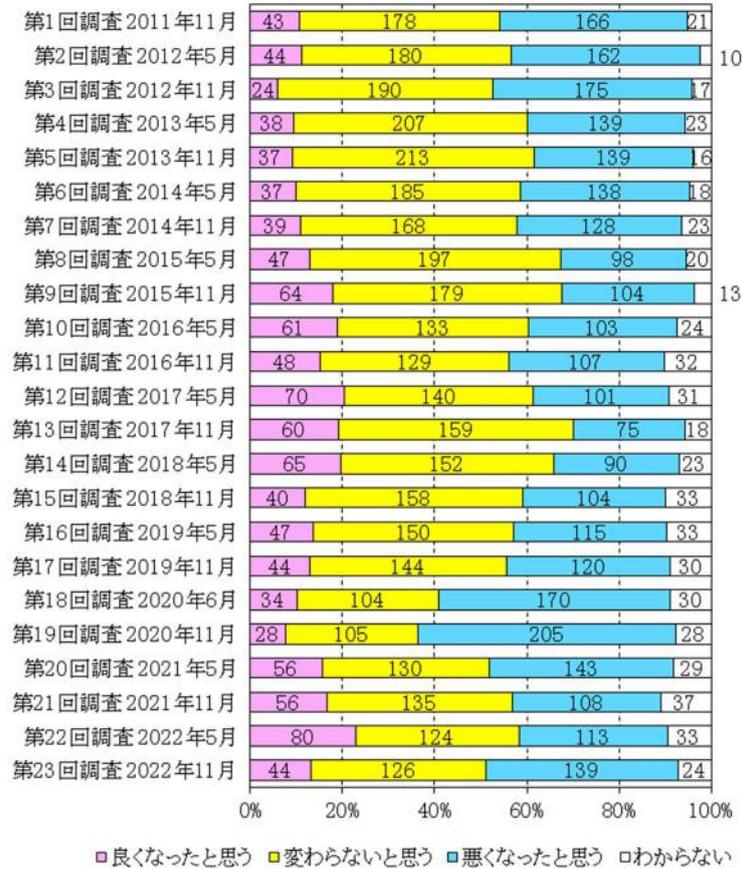
全業種で見た「経営状況DI」は大幅に下落した(19.1ポイント下落)。業種別では、製造業のDIが47.9ポイント下落し、調査開始以来最大の下落幅になった。非製造業のDIは5.2ポイント下落した。規模別では、従業員数1000人以上のDIが36.4ポイント下落し、これも過去最大の下落幅になった。



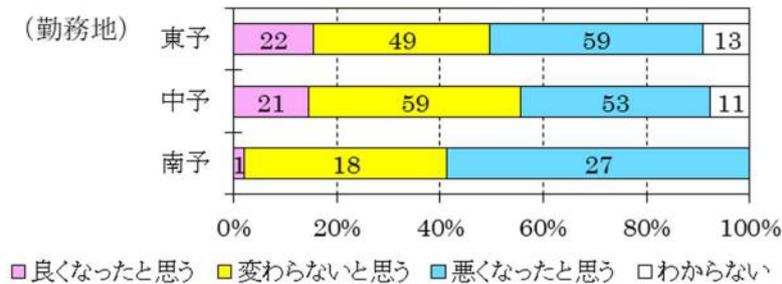
(注)全業種は、民間(製造業)、民間(非製造業)、公務員、その他(医療、福祉団体等)からなる。



問1 勤め先の現在の経営状況(1年前と比べて)

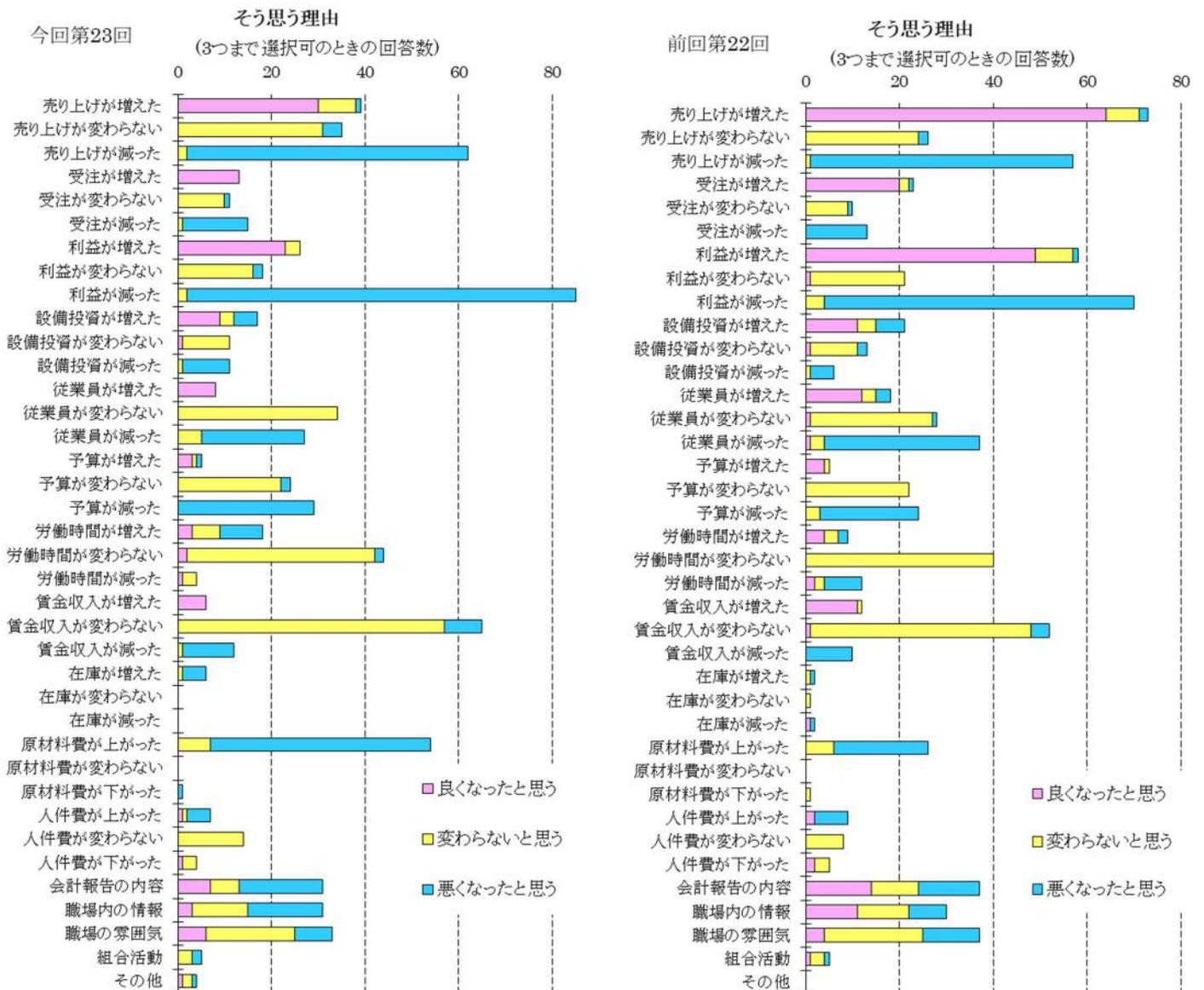


勤務地別に見た勤め先の経営状況(1年前と比べて)



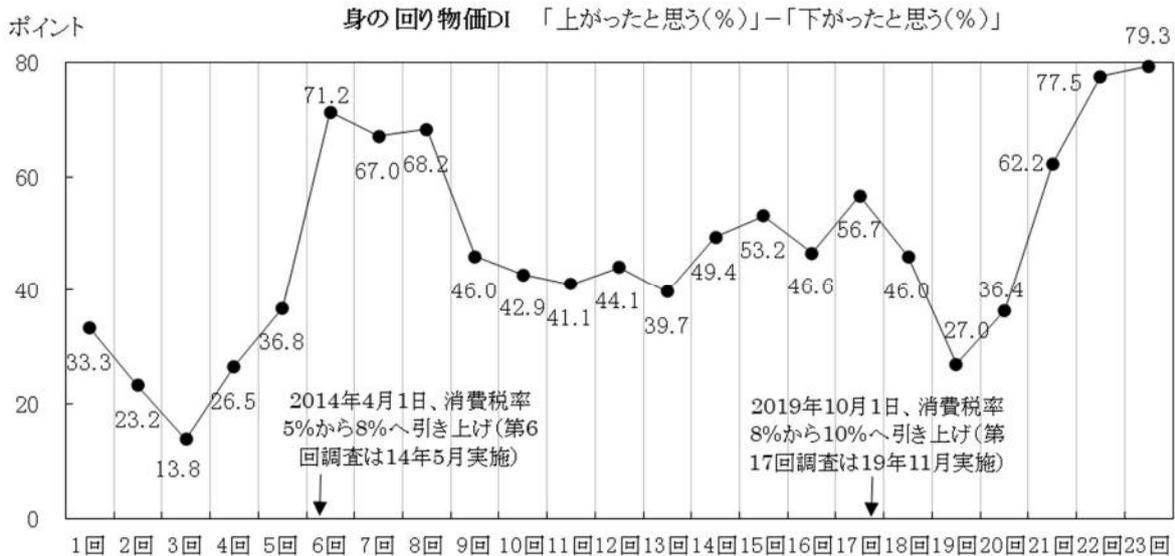
1-1. 勤め先の経営状況について、「良くなったと思う」理由、「悪くなったと思う」理由

第23回調査では、「良くなったと思う」の理由の上位3つは、前回同様に、「売りが上がった」「利益が増えた」「受注が増えた」であった。一方、「悪くなったと思う」の理由の上位2つは、「利益が減った」「売りが上がった」で、「原材料費が上がった」が今回3番目に入った。

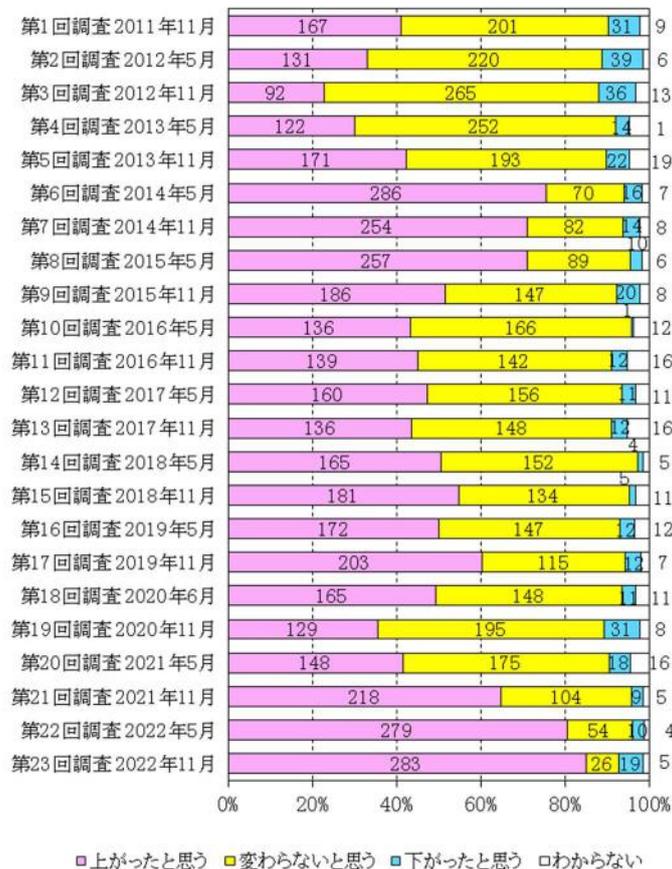


## 2. 物価

身の回り物価DIは、前回より僅かに上昇し79.3ポイントになった。上昇幅は1.8ポイントと小さいものの、「上がったと思う」回答割合が前回の80.4%からさらに増えて85.0%に達し、調査開始以来最多になった。

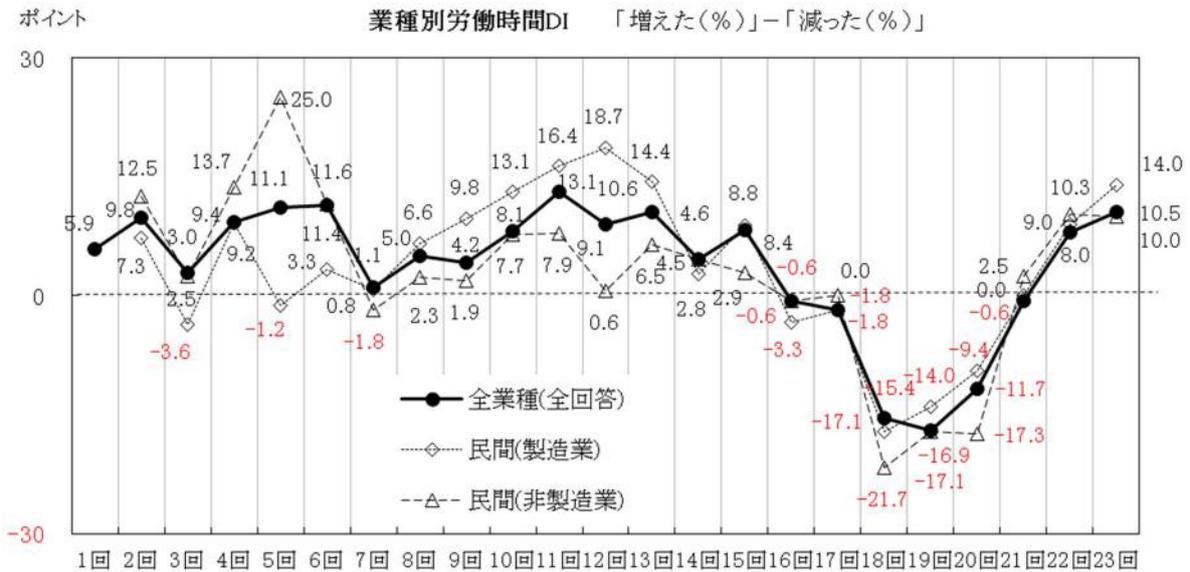


### 問2 日常生活に関連した商品やサービスの価格(1年前と比べて)

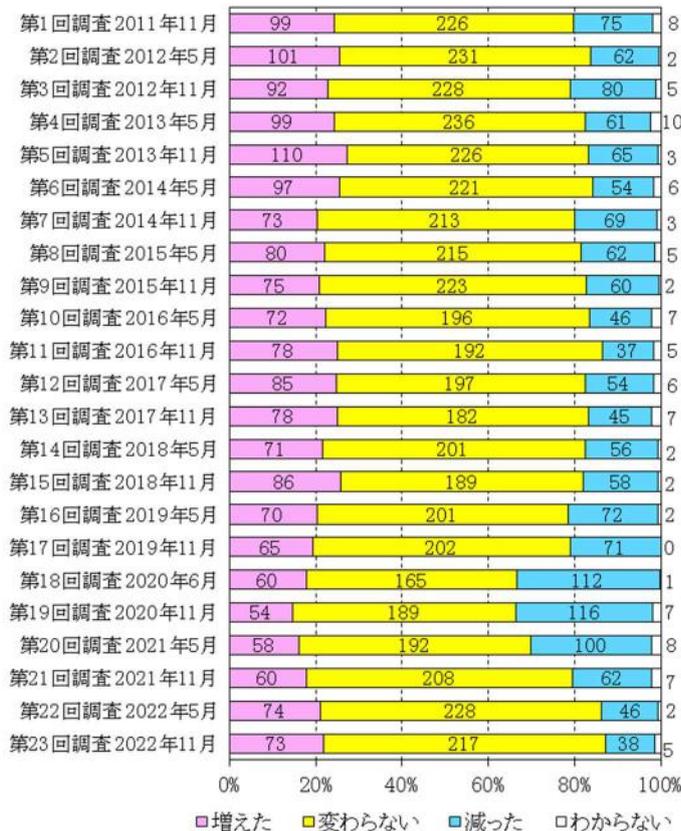


### 3. 実労働時間

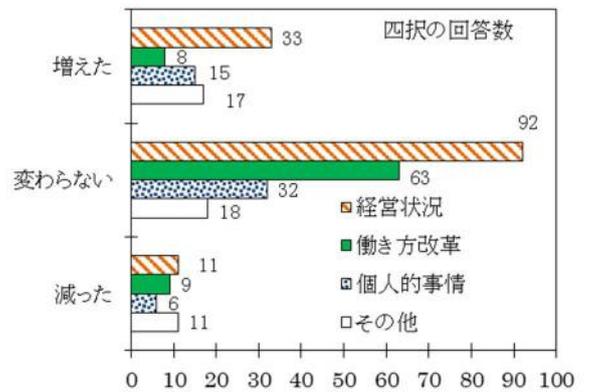
全業種で見た労働時間DIは僅かに上昇した(2.5ポイント上昇)。労働時間が増えた理由として、「経営状況」(33人)の選択数が最も多かったが、この選択数は経営状況が「良くなった」に対応しているわけではない。労働時間が減った理由も、「経営状況」(11人)が多かった。



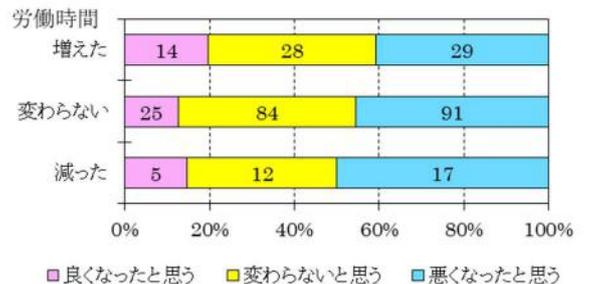
問3 最近の実労働時間(全業種、残業・休日出勤を含む、1年前と比べて)



労働時間の増減別に見た変化の理由

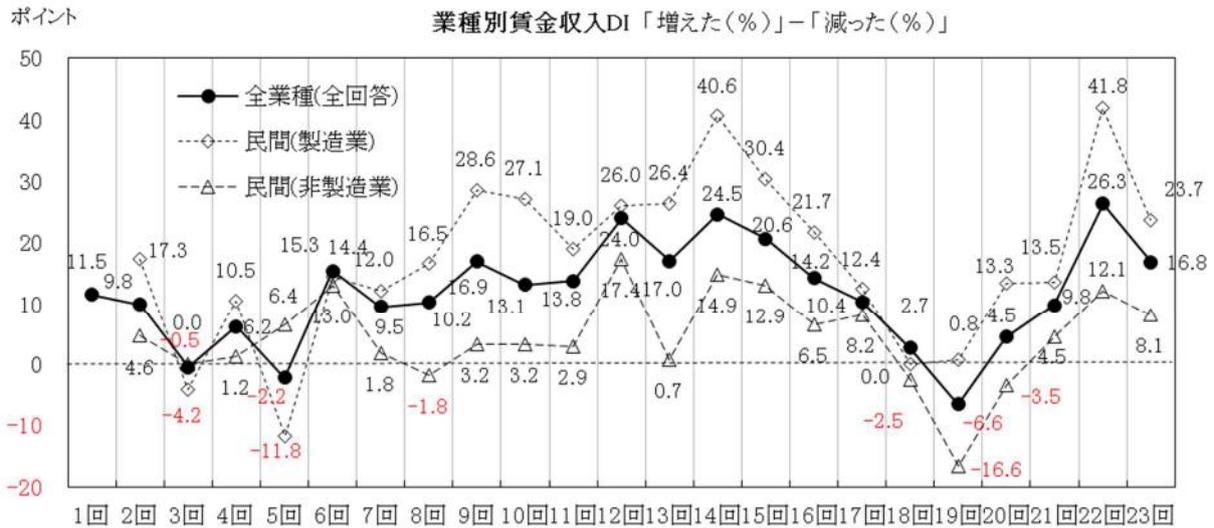


経営状況別に見た労働時間の変化(1年前と比べて)

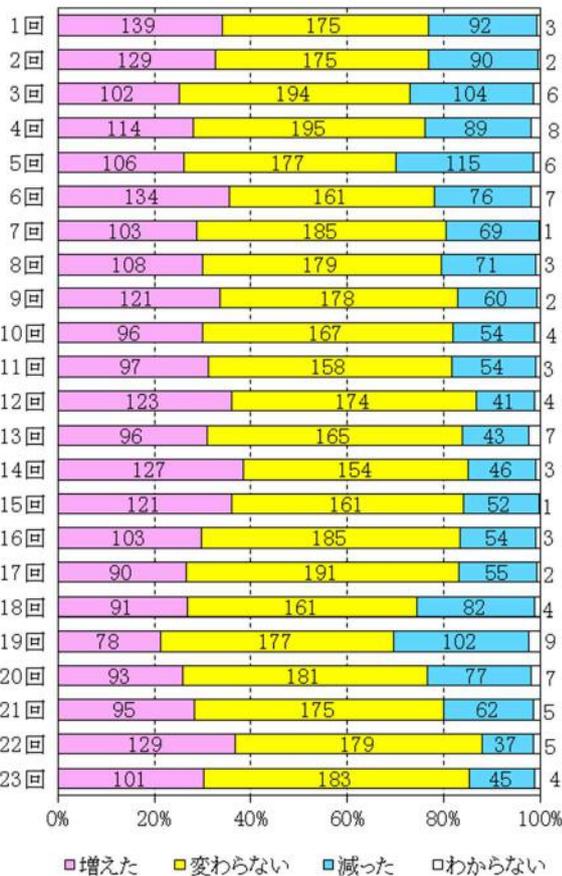


#### 4. 賃金収入

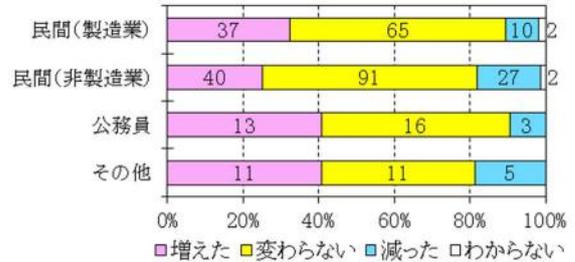
全業種で見た賃金収入DIは下落し16.8ポイントになった(9.5ポイント下落)。賃金収入の伸びにややブレーキがかかった状態といえる。特に、前回大幅に上昇した製造の賃金収入DIが大幅に下落した(18.1ポイント下落)。年齢別では20~40歳代で、業種別では製造業で「増えた」の割合が高かった。



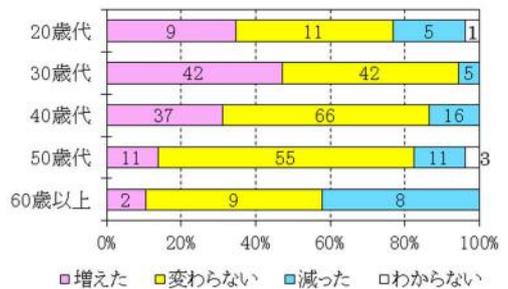
#### 問4 あなたの賃金収入(1年前と比べて)



#### 業種別に見た賃金収入の変化(1年前と比べて)



#### 年齢別に見た賃金収入の変化(1年前と比べて)

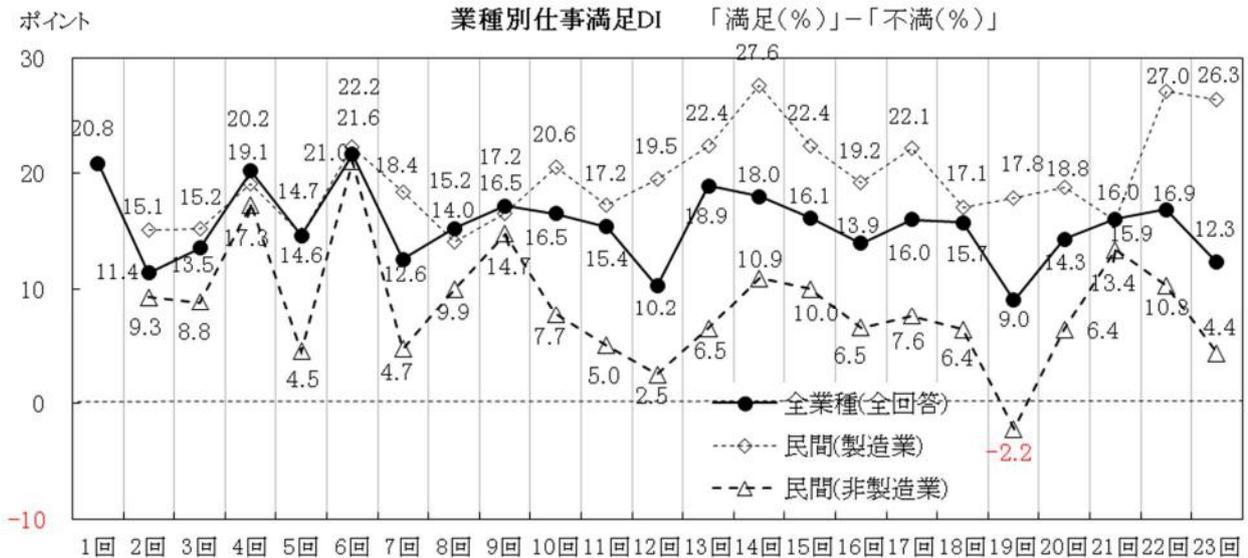


#### 年収別に見た賃金収入の変化(1年前と比べて)



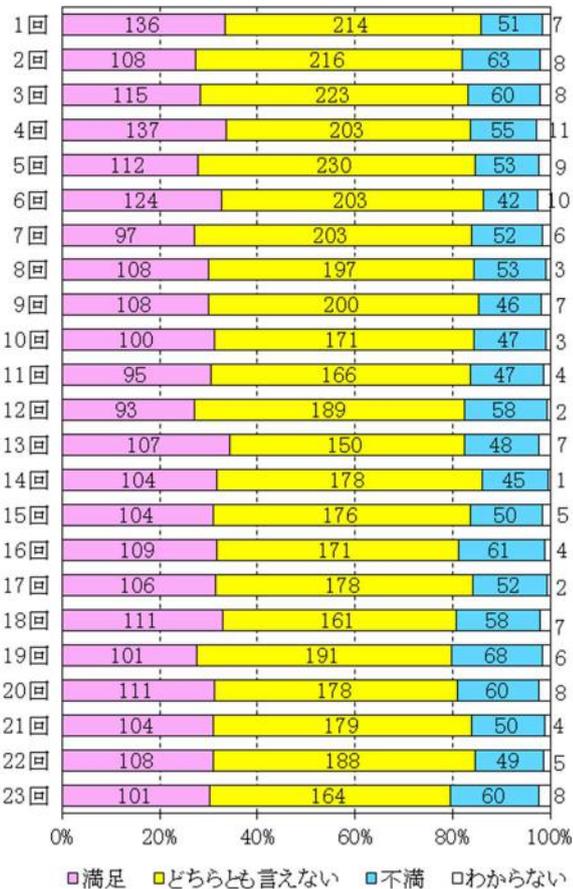
### 5. 勤め先の仕事の満足感

全業種で見た仕事満足DIは4.5ポイント下落し、12.3ポイントになった。製造業のDIはほぼ横這いで、非製造業のDIは5.9ポイント下落した。従来の調査と同様に、「勤め先の仕事の満足感」と「賃金収入の増減」「従業員規模」「業種」「勤め先の経営状況」との間に関連性が見られた。

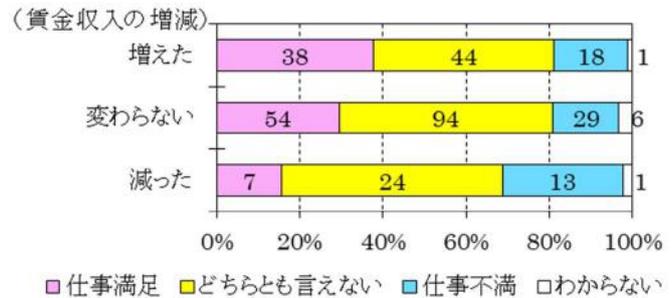


(注)全業種は、民間(製造業)、民間(非製造業)、公務員、その他(医療、福祉団体等)からなる。

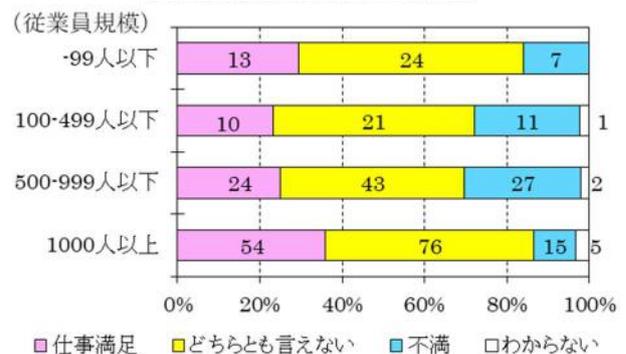
#### 問5 現在の仕事の満足感



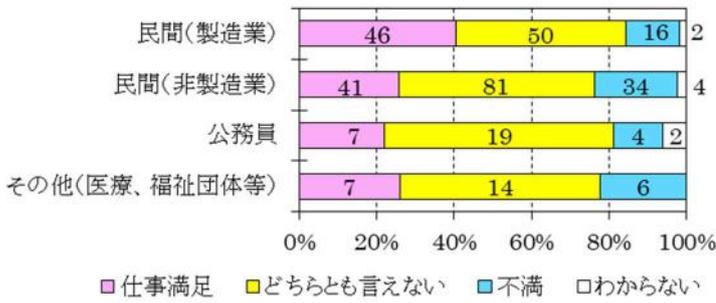
#### 賃金収入の増減別に見た仕事の満足感



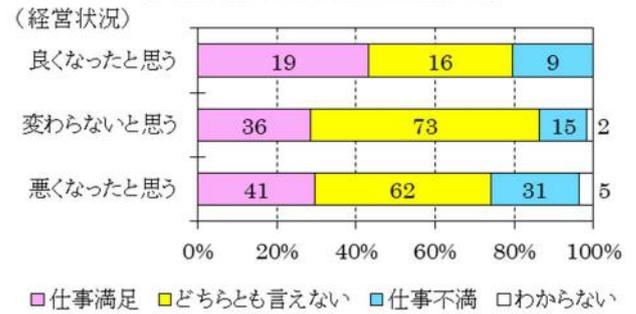
#### 従業員数別に見た仕事の満足感



業種別に見た仕事の満足感



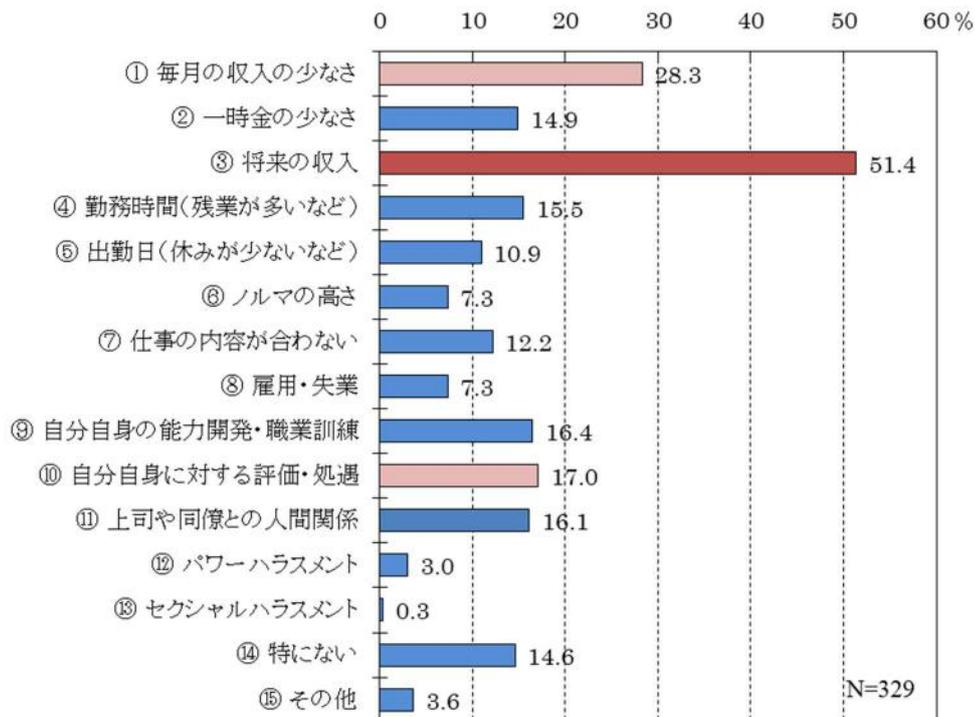
経営状況別に見た仕事の満足感



5-1. 仕事の不安・悩み (問6の結果)

仕事に関連した不安・悩みとして、「将来の収入」51.4%が突出して多く、2番目は「毎月の収入の少なさ」28.3%、3番目以降は、僅差で「自分自身に対する評価・処遇」、「自分自身の能力開発・職業訓練」16.4%、「上司や同僚との人間関係」16.1%と続いた。「パワーハラ」は3.0%であったが、回答数では10あった。

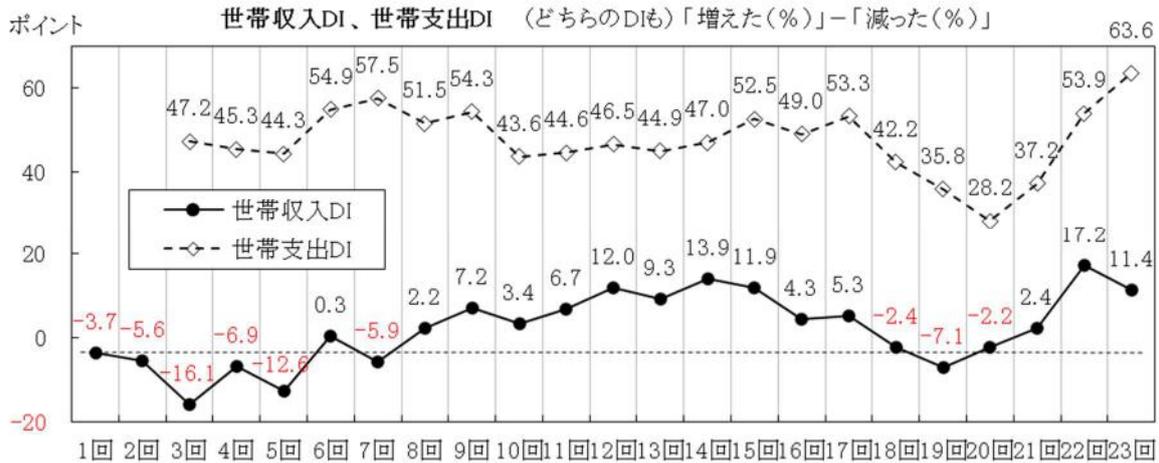
問6 仕事に関連してこの半年特に不安に思ったこと・悩んだこと (3つまで選択可)



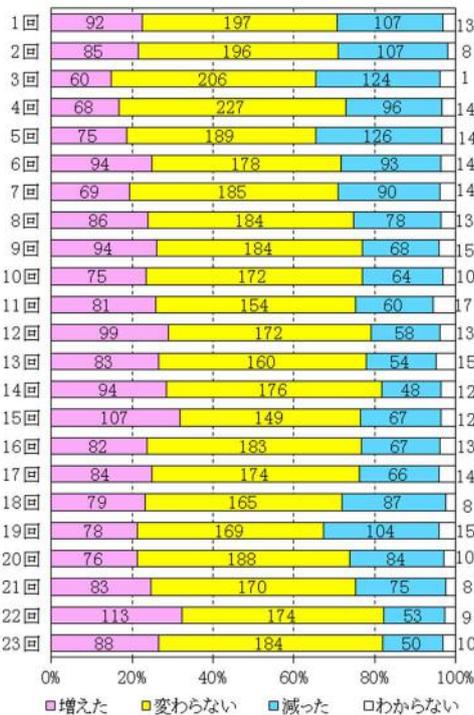
〈暮らし向きについて〉

6. 世帯全体の収入、支出(問7、問8の結果)

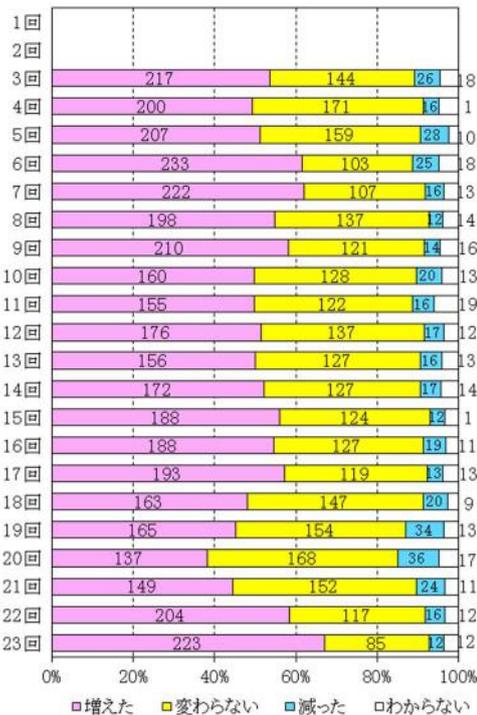
世帯支出DIは3期連続の上昇になった(9.7ポイント上昇)。一方、世帯収入DIは反転下落した(5.7ポイント下落)。世帯全体の支出が「増えた」の回答割合は過去最多になった(67.2%)。「世帯収入の増減」の回答と「世帯支出の増減」の回答の間に関係が見られた。



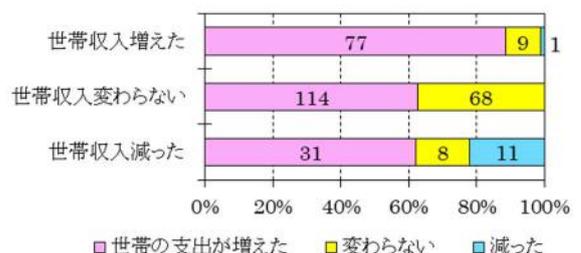
問7 世帯全体の収入(1年前と比べて)



問8 世帯全体の支出(1年前と比べて)



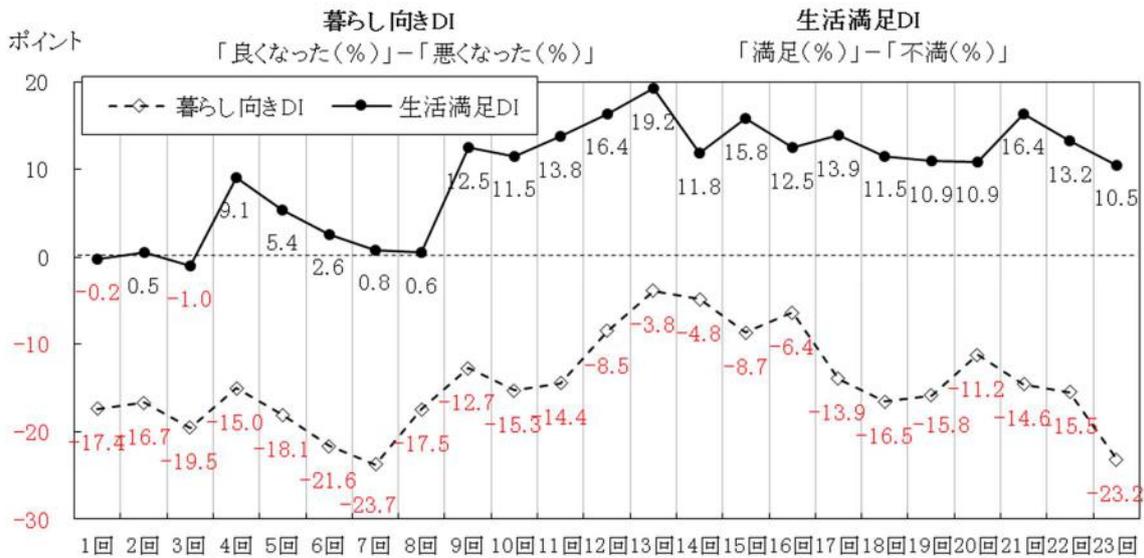
世帯収入の変化と世帯支出の変化(1年前と比べて)



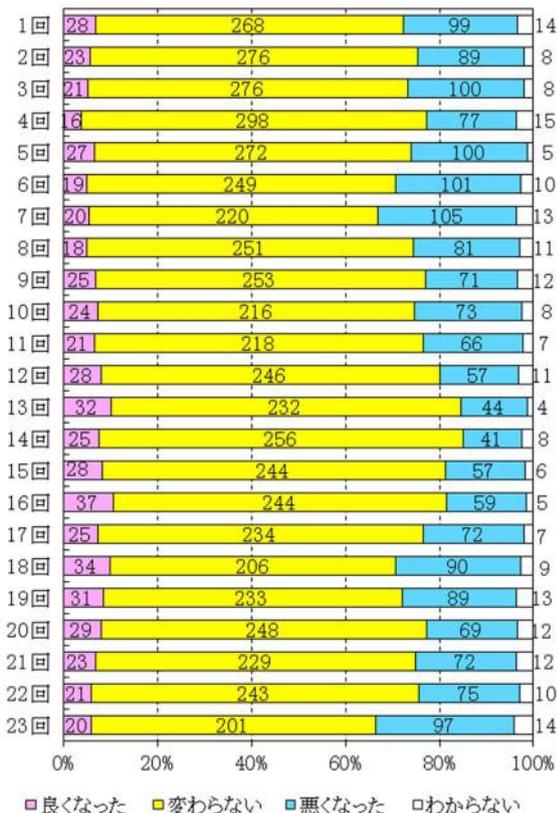
7. 世帯の暮らし向き(問9の結果)、生活の満足感(問10の結果)

世帯の暮らし向きDIはマイナス圏を推移していたが、さらに下落した(7.7ポイント下落)。前回調査と同様に、「世帯の暮らし向き」は回答者自身の「賃金収入の増減」(減った)との間に特に強い関連性が見られた。

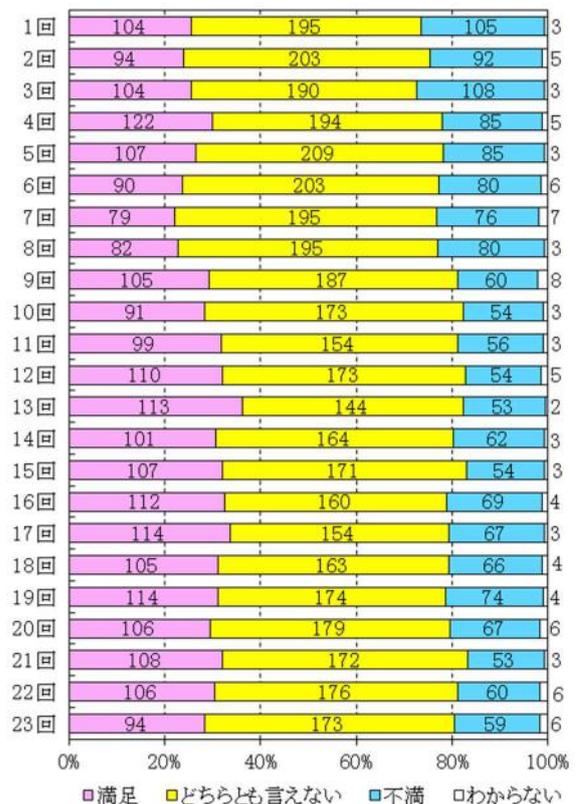
生活満足DIも僅かに下落した(2.7ポイント下落)。これまでの調査結果と同様に、「生活の満足感」は「仕事の満足感」「世帯の暮らし向き」との間に関連性が見られた。男女別の差はあまり見られなかった。

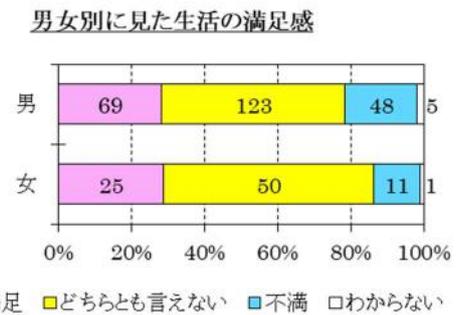
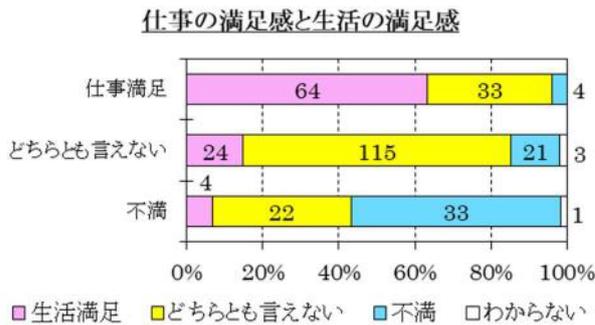
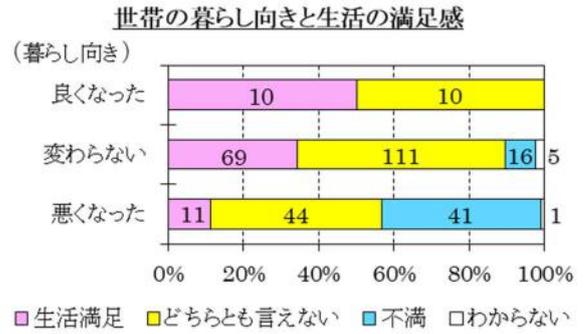
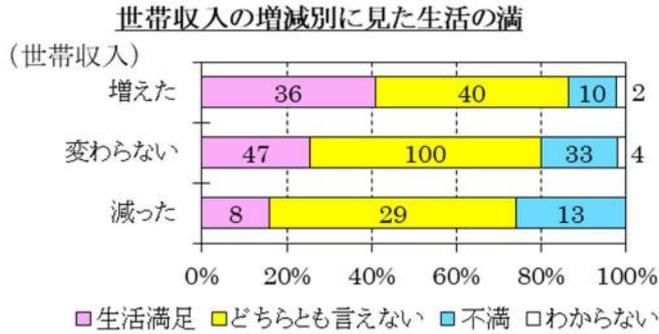


問9 世帯の暮らし向き(1年前と比べて)



問10 現在の生活の満足感

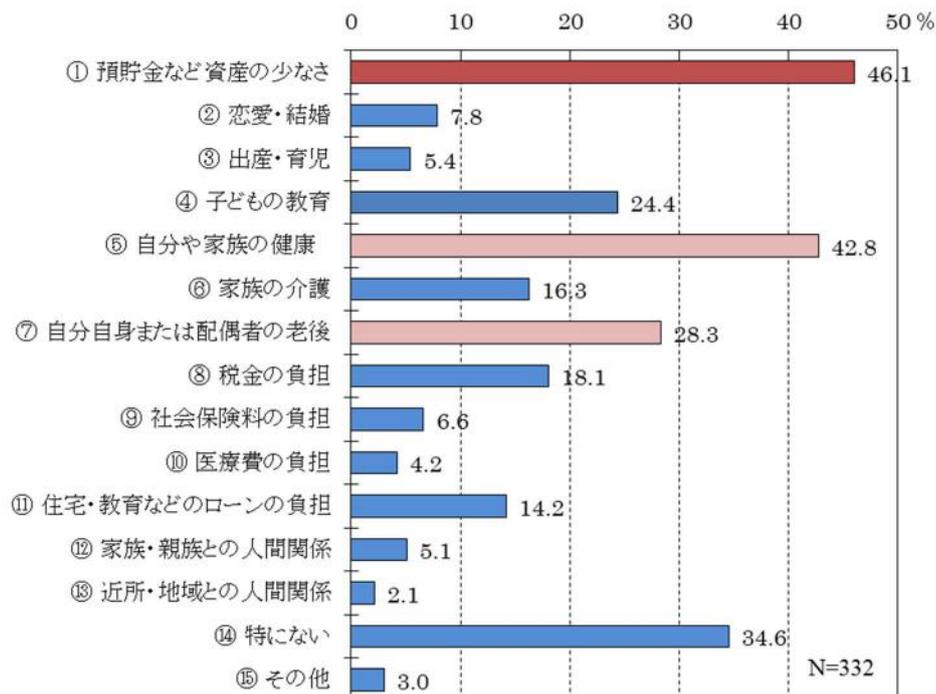




## 8. 生活の不安・悩み（問11の結果）

前回調査と同様に、「預貯金など資産の少なさ」46.1%、「自分や家族健康」42.8%、「自分自身または配偶者の老後」28.3%、「子どもの教育」24.4%が多かった。

問11 生活に関連してこの半年特に不安に思ったこと・悩んだこと（3つまで選択可）



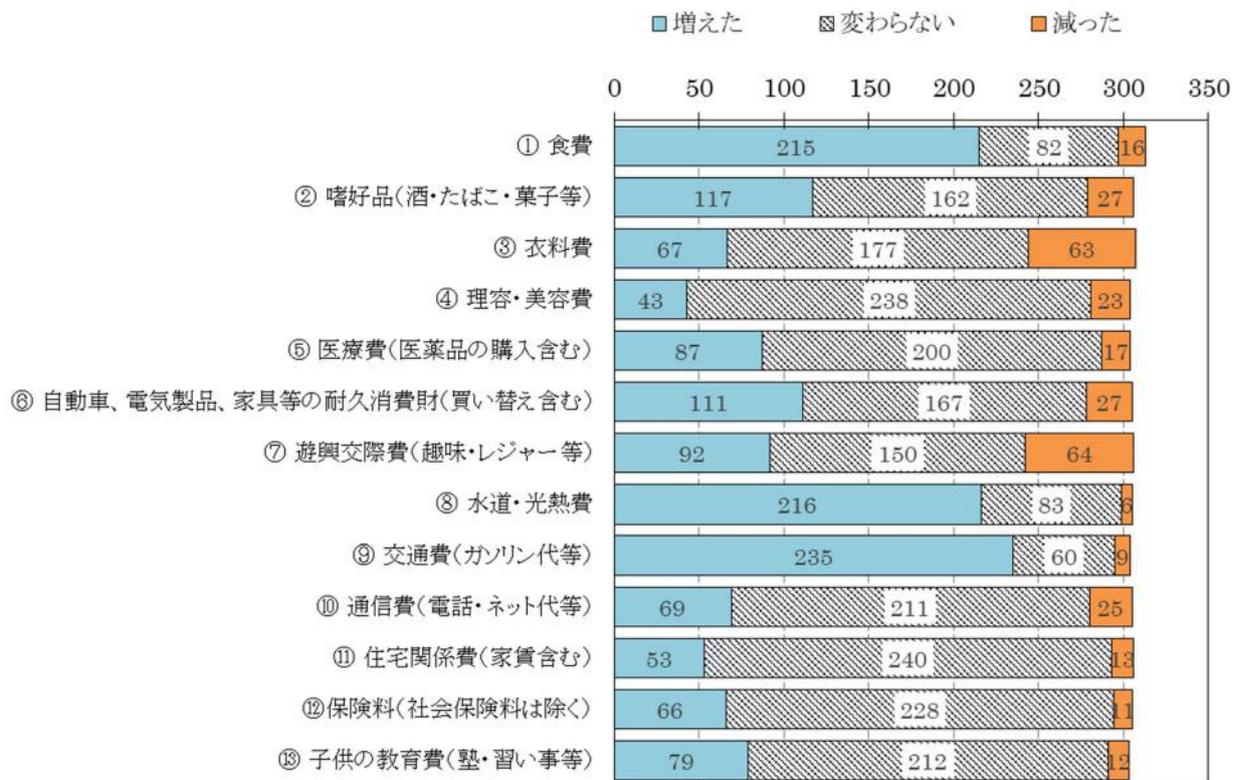
## (特別調査) 1年前と比べた世帯の消費生活の状況について

2022年は、勤労者の身の回りで値上げが続いた。値上げ幅の大きさ、対象品目の多さから、久しぶりに物価高騰が経済問題となっている。同時に、新型コロナ感染対策のために抑制されていた経済活動が回復局面に入りつつある。物価高騰と賃金収入増の中、勤労者世帯は支出をどう工夫していくのか注目されている。第23回調査では、この辺りを捉えるために、特別調査として、「1年前と比べた世帯の消費生活の状況」を調べることにした。

### 9. 費目ごとの「支出の変化」増えた?減った? (問12-1の結果)

⑨交通費(ガソリン代等)、⑧水道・光熱費、①食費で、世帯の支出が「増えた」の回答が多かった。一方、⑦遊興交際費、③衣料費では、「増えた」ほどではないものの「減った」が多かった。勤労者世帯は、全体として、③衣料費以外の費目へは支出を増やしていること(減らしていない)、また、費目により支出が「増えた」の回答数に開きがあることを確認できた。

1年前と比べた世帯における支出の変化 (「増えた」「変わらない」「減った」の回答数)



n=333

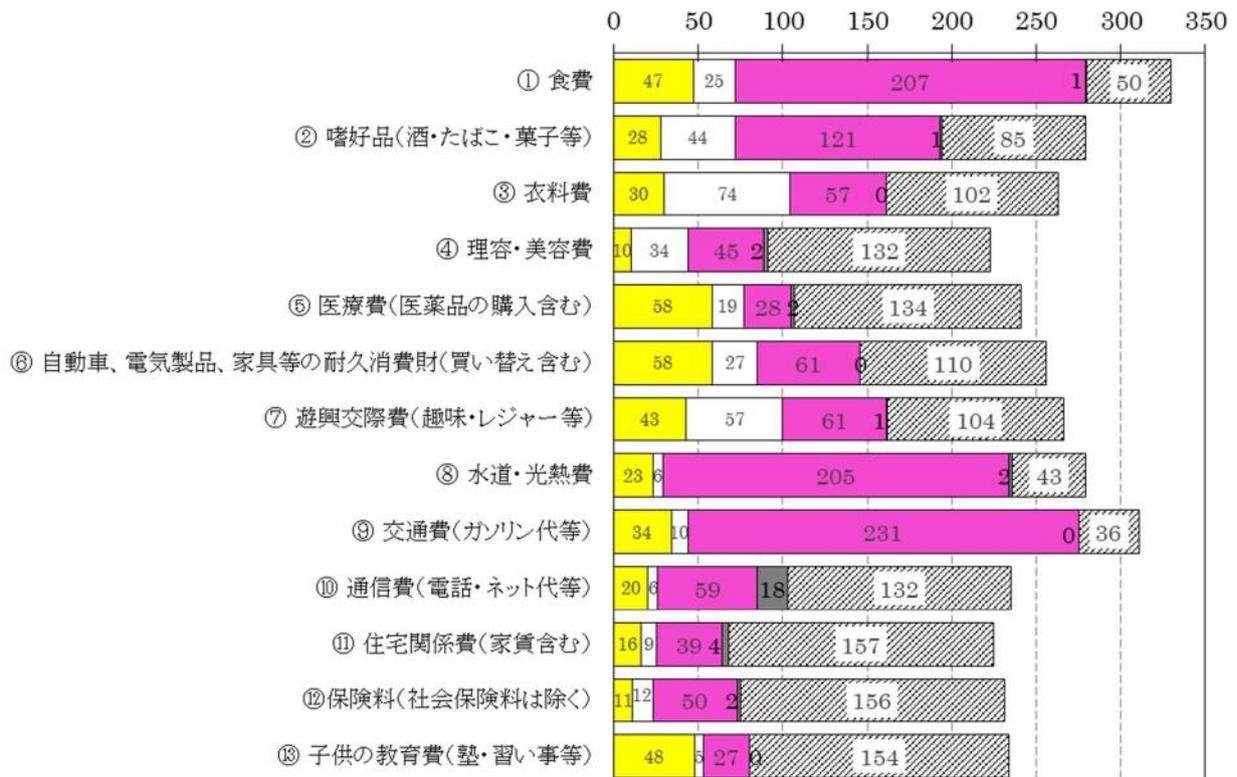
10. 費目ごとの「支出の変化」の理由(問12-2の結果)

①食費で、世帯の支出が「増えた」ことが前の問12-1で確認されたが、その理由として「価格が上がった」が突出した(回答総数333のうち回答数207)。  
⑧水道・光熱費、⑨交通費(ガソリン代等)についても、「価格が上がった」が理由として突出した。やはり、価格上昇が支出増の主たる要因になっており、特に、食費、光熱費、ガソリン代への支出増は価格要因が大きかった。

一方、①食費、⑤医療費、⑥自動車等の耐久消費財、⑬子供の教育費で「購入数量が増えた」の回答も一定数あった。価格上昇下においても、購入量を増やす世帯があった。逆に、③衣料費や⑦遊興交際費では「購入数量が減った」が他の費目と比べて目立ち、費目により購入数量の増減が分かれたことも確認できた。

1年前と比べた世帯における支出の変化の理由(回答数)

■購入数量が増えた □購入数量が減った ■価格が上がった ■価格が下がった ▨その他



n=333